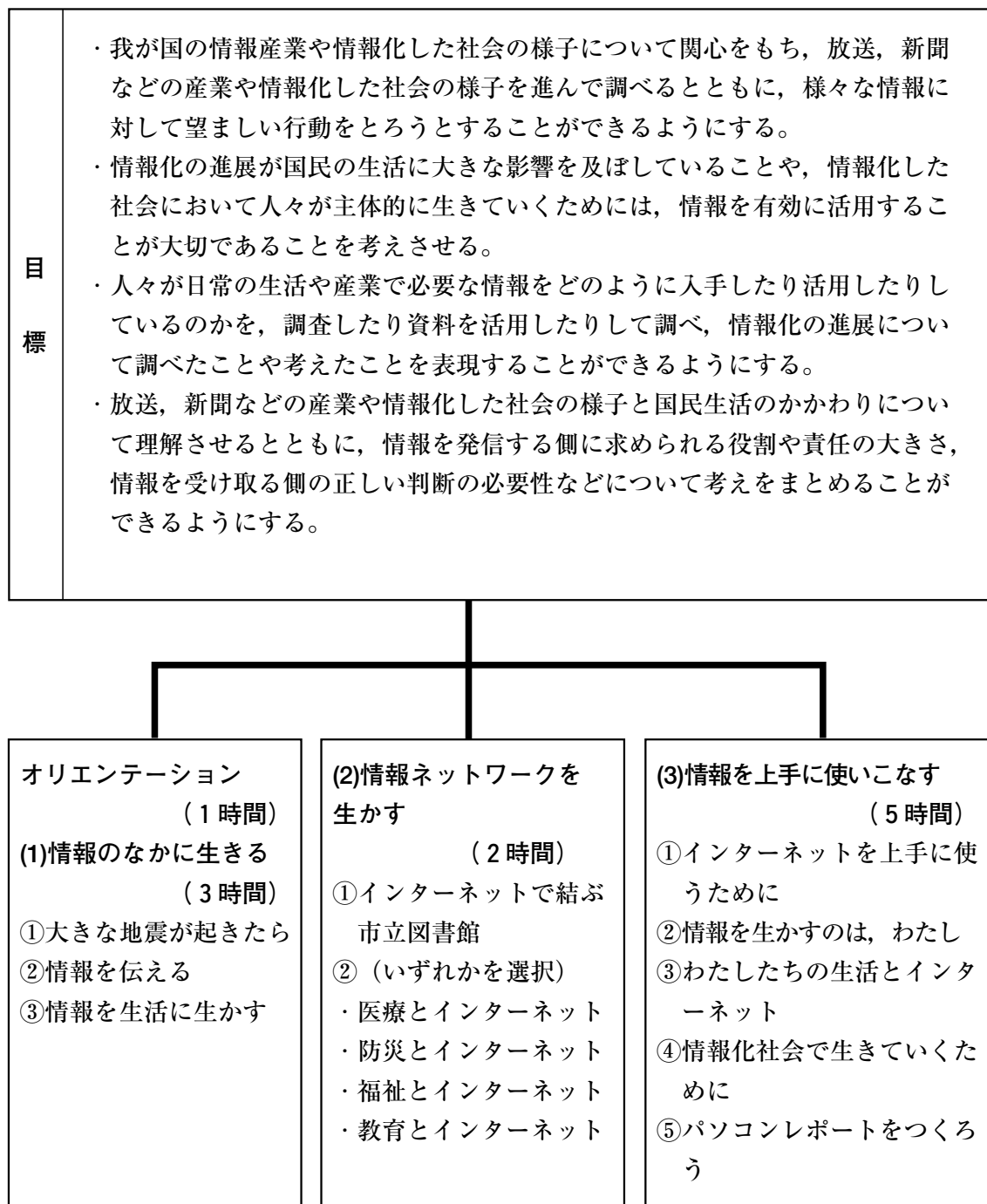


1.単元の目標と単元構成



2. 指導計画作成上の工夫と留意点

(1) 単元の目標と構成

本単元の目標は、我が国の情報産業や情報化した社会の様子を理解するとともに、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報の有効な活用が大切であることを考えることである。さらに、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさや、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考えることも求められている。したがって、本単元では、情報産業としての情報の学習や情報が生み出される仕組みなどを学ぶことを主にするのではなく、情報化社会を生きていく子どもたちが情報に対して進んでかかわることや、情報を道具として正しく使いこなせる資質や能力を身につけることを重視したい。

そこで、本単元は、「情報のなかに生きる」「情報ネットワークを生かす」「情報を上手に使いこなす」という3つの小単元で構成することにした。

(2) 単元を構成する上での留意点

日頃からたくさんの情報に囲まれ、何気なく利用している子どもたちは、主体的に情報を役立てようとする意識がもてないのが現状であろう。また、情報と私たちの生活とが深くかかわっていることもよく理解していない。そこで、子どもたちの日常生活から具体的な場面を取り出して、情報化の進展が私たちの生活に大きな影響を及ぼしていることを考えさせたい。

第1小単元「情報のなかに生きる」では、緊急地震速報が私たちの生活にどのようにかわり、活用されているのかという事例を取り上げた。ここでは、私たちが知りたい情報は様々な情報手段によって速く正確に手に入れられることや、私たちは生活の中で様々な情報に支えられていることを理解させたい。そして、これらの学習によって、様々な情報は私たちの生活と深く結びついていることを考えさせたい。

第2小単元「情報ネットワークを生かす」では、情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの事例について、選択して取り上げた。学習指導要領の内容の取

り扱いには「教育、福祉、医療、防災などの事例の中から選択して取り上げること」とあるが、子どもが各事例を分担して調べ、ポスターセッションを行う活動なども考えられる。身近な図書館の情報ネットワークを学びの入り口にして、様々な取り組みに目を向けさせながら、子どもが主体的に学びに取り組むことによって、調べる学習の楽しさを味わわせたい。教えるだけの授業にならないように、子ども自ら学ぶ授業を意図的に計画したい。

第3小単元「情報を上手に使いこなす」では、第1小単元や第2小単元の中でも取り上げた、私たちが情報とどのようにかわっていけばよいかということに着目して単元を構成した。特に、全国に普及したパソコンや携帯電話、インターネットについて、発信者として、または、受信者として大切なことを話し合う活動を設定した。また、それらの活動を通して、自分なりの考えや、調べて考えたことを、パソコンを使って表現することも大切にしたい。

(3) 事例の選択と学習活動の工夫

第1小単元では、テレビの緊急地震速報を導入として、ニュース放送を取り上げたが、子どもや地域の実態によっては、ラジオ放送や新聞の情報を取り上げてよい。その際、単に仕組みを学ぶだけでなく、情報を発信する人たちの願いや働きに目を向けるようにしたい。

第2小単元では、地域に適切な情報ネットワークの活用例がある場合は、その事例を中心に学習を展開することが望ましい。

また、第3小単元の内容は、第1小単元や第2小単元の内容と切り離して学習を進めるのではなく、子どもの疑問や思いに合わせて、適所適所で取り上げていくことも大切である。

(3) 情報を上手に使いこなす【5時間】

過程	ねらい	主な学習活動と内容	□留意点 ●学習資料 く 〉評価
つかむ	◆パソコンの上手な使い方について話し合うことを通して、情報を伝える側の責任やマナーを知り、情報を発信したり受信したりする時にどんなことに気をつけたらよいのかについて問題意識をもつ。 (1)	①パソコンの登場によって便利になったことや問題点について話し合う。 ②インターネットを上手に使いこなすためにはどうしたらよいか話し合う。 ③インターネットを使う時のマナーについて話し合う。 ④情報の発信者や受信者として気をつけることは何かという学習問題を立てる。	□情報を有効に活用したことや、困ったことなどについて意見を交換するようにしたい。 □ホームページやブログなど、情報を発信する時に気をつけることを考えさせたい。 □情報を発信する側の責任についても考えるようにしたい。 □発信者としての立場だけでなく、受信者としての立場としても問題意識をもたせたい。 ＜情報を発信したり受信したりする時に気をつけることについて、関心をもって考えている＞【関・意・態】
	私たちは、どんなことに気をつけて情報を発信したり、受信したりすればよいのだろうか。		
調べる	◆これからの社会の中で情報の果たす役割について考え、情報の受信者や発信者として、情報をくらしに生かしていくために大切なことを考える。 (1)	①私たちの生活の中で情報がどのような役割を果たしているのかを考える。 ②情報を利用した時、失敗したことを話し合う。 ③複数の新聞の記事を読み比べて違いを話し合う。 ④情報を生かすのに大切なことを考える。	□私たちの便利で快適なくらしに情報が大きな影響を及ぼしていることをとらえさせたい。 □情報があふれている生活の中で困ったことはないかを考えさせたい。 □同じ出来事でも、書き手によって記事の印象がちがうことをとらえさせたい。 □情報を受け取る側が正しく判断することの大切さを考えるようにする。 ＜情報の受信者や発信者として、情報をくらしに生かしていくために大切なことを考え、表現している＞【思・判・表】

調べる

◆インターネットによる人や社会の様々な結びつきについて話し合うことを通して、インターネットが私たちの生活にどのような影響を及ぼしているかを理解する。

(1)

◆インターネットの便利さや問題点について話し合い、情報化社会で生きていくためにはどのようなことに気をつけて活用していけばよいのかについて、自分の考えをレポートに書く。(1)

◆これまで学習したことを振り返り、「学びのてびき」を参照しながら「情報ネットワークでつながるわたしたち」という題でパソコンレポートをつくり、友達とレポートを伝え合う。(1)

①私たちの生活の中でネットワークがどのように結びついているかを話し合う。

②ネットワークは私たちの生活にどのような影響があるのか考える。

③インターネットと私たちの生活が深く結びついていることを考える。

①インターネットのよい点、悪い点について考える。

②インターネットの便利さや問題点について話し合う。

③「インターネットのよい点と悪い点」というテーマでレポートを書く。

①「情報ネットワークでつながるわたしたち」という題で、パソコンでレポートをつくる。

②友達と互いのレポートを読み合い、意見交換する。

□インターネットによって多くの情報が速く、安くやりとりできるようになり、人や社会が様々な結びついていることをとらえさせたい。

□コンピューターウイルスなどの影響で、もし、コンピューターが止まったらどうなるかを考えるようにする。

□私たちの便利な生活とインターネットとのかかわりを理解させる。

＜インターネットが私たちの生活にどのような影響を及ぼしているかを理解している＞【知・理】

□いろいろな見方でよい点と悪い点を考えさせたい。

□テーマや場面をしぼって、みんなで様々な意見を交換し、自分の考えをもたせたい。

＜インターネットの便利さや問題点について理解している＞【知・理】

□調べたことだけでなく、自分の考えや意見をきちんと書くようにしたい。また、友達の考えにも意見を伝えるようにしたい。

＜情報化社会で生きていくために望ましい行動について考え、レポートに表現している＞【思・判・表】

□パソコンの使い方、個人情報や著作権などの約束を考えながら、見やすく分かりやすいレポートを作るようにしたい。

□友達の違った見方に出会うことによって、自分の考えをさらに深めるようにしたい。

＜題や構成を考え、パソコンでレポートを作成している＞【技】

＜友達とレポートを発表し合い、考えを伝え合っている＞【思・判・表】